

ICSU (International Council for Science : 国際科学会議)

1 概要

ICSU は、1931 年 (昭和 6 年) に設立された非政府、非営利の国際学術機関であり、事務局はパリに置かれている。アカデミーなど各国を代表する組織と、各学問分野を代表する国際学術連合を取りまとめる組織で、いわば世界の科学者の国連とも呼べるべき組織である。

その使命は、人類の福利に貢献するため、世界規模の環境や社会的な課題について国境、学問分野を超えて科学者の叡智を結集し、科学技術の国際協力を推進し、科学技術に関する様々な課題について政府や市民社会に対して助言を行うことである。

主な活動は、多くの各国アカデミーが参加し、国際極年 (IPY) 、統合防災研究計画 (IRDR) 、生態系の変化と人類の福祉 (Wellbeing) 、都市の健康と福祉、気候変動国際共同研究計画 (WCRP) 、地球圏・生物圏国際共同研究計画 (IGBP) 、生物多様性国際共同研究計画 (DIVERSITAS) などの多くの国際共同研究事業を進めている。また、2009 年には、「知識と未来」のテーマの下、世界科学フォーラムをブタペストでユネスコ等と共催した。

2 運営及び組織

(1) 運営組織

ア 総会 (General Assembly)

全構成会員からなる最高決議機関。3 年に 1 度開催。最近の開催状況：1999 年カイロ、2002 年リオデジャネイロ、2005 年 10 月上海・蘇州、2008 年 10 月モザンビーク。2011 年 9 月ローマ。

イ 理事会 (Executive Board)

役員 5 名 (下記参照)、ユニオンメンバー代表 4 名 (ISPRS、IUHPS、IUPESM、IUPAP※) 及びナショナルメンバー代表 4 名 (中国、イギリス、フランス、ブラジル) の計 8 名の常任理事 (Ordinary Member) の合計 13 名からなる委員会。任期は 3 年。年 2 回開催。

(2) 役員 (President-Elect 以外 2011 年 10 月から任期 3 年間)

President: Yuan Tseh Lee (Taiwan)、President-Elect: Gordon McBean (Canada)、Vice-President for Scientific Planning and Review: Malegapuru W. Makgoba (South Africa)、Vice-President for External Relations: Sergio Pastrana (Cuba) 、Secretary-General: David Black (Australia)、Treasurer: Hans-Rudolf Ott (Switzerland)

(3) 構成会員 (2011 年)

ア 正会員 121 のナショナルメンバー (うち準会員 8、オブザーバー 15) と 30 のユニオンメンバー (国際学術連合) から構成される。

イ 準会員 22 の国際学術団体、8 の国家科学アカデミー。更にオブザーバーとして 13 の国家科学アカデミー (分担金負担免除)

(4) 財政・予算

加盟アカデミー等からの加入分担金やユネスコからの助成金で賄われている。2009 年の収入総額は約 423 万ユーロ (約 4.5 億円)。財務条件については分担金負担額に応じた加重投票方式の導入が可決された。

3 日本学術会議との関係

(1) 日本人役員等

1963 年に茅誠司会長 (当時) が ICSU 副会長を、1999-2002 年吉川弘之会長 (当時) が ICSU 会長を務めた。また、2009-2011 年は日本人女性としては初めてとなる黒田玲子会員が ICSU 副会長を務めていた。

(2) 日本の分担金 212,440 ユーロ (2011 年) 約 2,550 万円 米に次ぐ規模。

※ISPRS (国際写真測量法・リモートセンシング学会)、IUHPS (国際科学史・科学基礎論連合)、IUPESM (国際医用物理工学科学連合)、IUPAP (国際純粋・応用物理学連合)